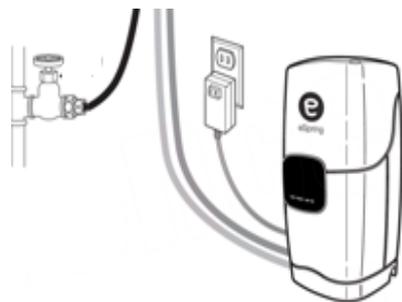


本体からの水抜きと梱包方法のご案内

①水道管に接続している止水栓を完全に閉めたあと、補助水栓ハンドルを浄水モードにして、水が出なくなるまで待ちます。

① 止水栓を閉める

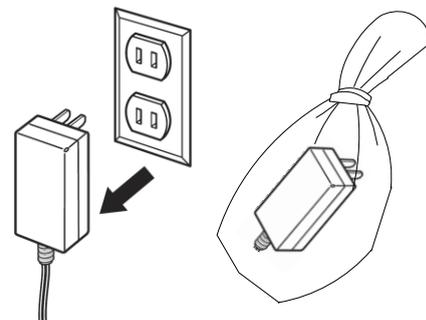


② 浄水モードにして水を排出した後に止水する



※止水栓がない場合は、補助水栓の浄水を止めた状態で作業を行います。

②電源プラグをコンセントおよび本体から抜き、ホコリをはらった後にビニール袋にしまします。

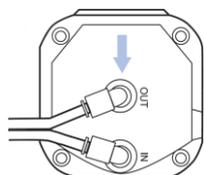


③浄水器本体からホースを外して下さい。

【ご注意】

お取り外しの際、浄水器本体およびホースにたまっている水が出ますので、浄水器本体を水受け容器またはタオルなどに置いてから、ホースを抜いて下さい。

本体底部のホース接合部についている可動式リングを指先で押しながらホースを引き抜きます。



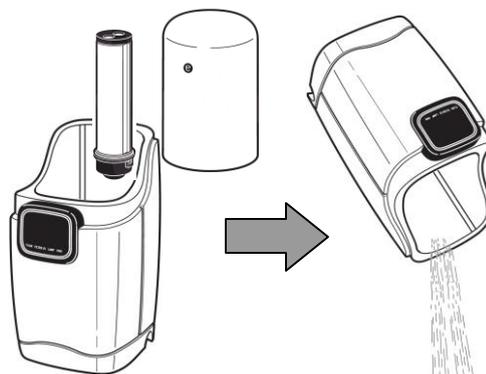
可動式リングを指先で押しながら



★ホースが外れないときは…★

可動式リングが動くと、ストッパーの動きをしてホースが抜けません。抜けにくい場合は、2本のホースを交互に少しずつ引き抜いてください。

④浄水器本体をシンク下から取り出し、シンク上に置いた後、本体からフィルターと紫外線ランプを取り外し、本体内部に残留している水を捨てます。



【ご注意】

本体を傾けた時に、内部の小さなゴムの部品とバネが外れることがあります。紛失しないようご注意ください。



フィルターは、シンク内や水受け容器などに5~10分ほど置いていただきますと内部に残っている水が排出されますが、完全に抜ききることはできません。

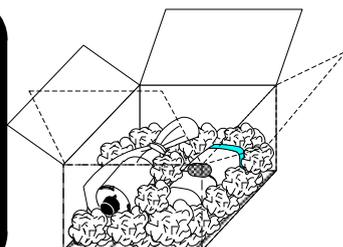
⑤本体・フィルター・紫外線ランプに付着している水をよく拭き取ります。
フィルターの中央部に紫外線ランプが収まった状態にして、ビニール袋に入れます。

★本体はビニール袋には入れないで、箱に入れて下さい。

緩衝材として丸めた新聞紙などを十分に詰めて下さい。
特にモニター部分は破損しやすいので、しっかり保護して下さい。

【ご注意】

フィルターと紫外線ランプ、電源プラグ、切り換えバルブ等と一緒に箱に入れる時は、輸送中の振動により、同梱物が当たって本体が破損しないよう、本体の間にも緩衝材を入れて下さい。



⑥緩衝材を詰めて梱包したダンボール箱の上に別紙記載の修理受付番号（E～）を記入し、
<送り先>へ着払い・こわれもの扱いでお送り下さい。

★【ご注意】★

修理でeSpring浄水器をお預りしているあいだは、ホースの先端に水受け容器を置いていただき、止水栓は絶対に開けないで下さい